



発行所 (株)日本設備工業新聞社 東京都渋谷区桜丘町10-13 〒150-0031 野元第1ビル 電話 (03) 3496-4774(代) FAX (03) 3464-1884 info@setubikogyo.co.jp 年額8,800円(税送料込)

TOTO システムバスルーム シンラ

耐震・リスク対策学

東管機商 講演会・製販懇談会

東管機商(機械商業協同組合)は11月1日、東京・千代田区神田錦町の学士会館で講演会・製販懇談会を開催した。講演会ではリスクマネジメントなどを手掛ける総合調査会社社が企業のリスク対策について多様な観点から説明。製販懇談会では給水装置メーカーで組織する給水システム協会(WSA)が最新の情報を提供し、給水用具に求められる近年のニーズや耐震性能強化型規格、給水配管の耐震性評価試験の動向などを熱心に学んだ。

給水システム協会が情報提供

東管機商は5月21日、東京・港区の明治記念館で第77回通常総会を開き、新年度事業計画などを決定するとともに、任直しに意欲を期満したに伴う役員改選で、新任理事に落合氏を選出した。新たな執行部体制の確立に伴い落合新理事は組織の見直しに意欲を示し、理事会



落合理事長



学士会館に組合員企業など参集

上下水道耐震化計画策定を

国土交通省 緊急点検で耐震化率が低調

国土交通省は11月1日、上下水道施設における耐震化状況の緊急点検結果をまとめた。それによると、上下水道施設の耐震化率は全体的に低い水準にとどまっており、未だ耐震化が十分ではないことが明らかになった。このため同省は全国の水道事業者・下水道管理者に上下水道耐震化計画の策定を求めるなど計画的・集中的に耐震化を進めていく。今回の緊急点検は能登半島地震の教訓を踏まえ、長期にわたって使用不能となったことから、令和5年度末時点の全国の上下水道システムの耐震化率を調査した。このうち水道システム

の急所施設については取水施設が46%、導水管が34%、浄水施設が43%、送水管が47%、配水池が67%だった。また下水道システムの急所施設は下水処理場が48%、下水道管路が72%、ポンプ場が46%となっている。一方、避難所などの重要施設に接続する上下水道管路は水道管が39%、下水道管が51%、汚水ポンプ場が44%。給水区域内・下水道区域内における重要施設のうち接続する上下水道管路のいずれも耐震化されている重要施設の割合は15%に過ぎなかった。こうした結果を受けて国土交通省は上下水道耐震化計画の早期策定・実行を促すとともに、上下水道事業の運営基盤強化や施設規模の適正化、効率的な耐震化技術の開発、災害時の代替性・多重性の確保などを推進し、強靱な持続可能な上下水道システムを構築をめざす。具体的には料金・使用料の見直し、広域・官民連携の強化、施設のダウンサイジング・統廃合、分散型システムの活用、軌道下など耐震化工事が困難な場所の施工方法開発、可搬式浄水・汚水処理設備の導入、代替水源確保、配水系統間の相互融通、浄水場と下水処理場の連絡管整備などに力を入れる。

事業概要や協会規格、主要製品について紹介していた。皆さまの明日からのお仕事のお役に立つことを祈念している」と述べ、実りある取り組みを期待した。第一部の講演会では管工機材業界を中心にコンサルティング業務を行っている(株)TMR(高橋新治社長)の高橋社長が「いさつし」管工機材業界は他の業界と比べ利幅が小さい。倒産も多く危険と隣り合わせだ。このため内部留保が重要だが、4割の企業は適正水準未達となっている。市況も現在がピークで次第に下降線をたどることが予想される。創意工夫がなければ大手の寡占が進む。経営環境が厳しくなっても耐えられるだけの経営体質を確保する必要がある。中小企業は人が財産で給与だけでなくプラスアルファの魅力が求められる。後継者が「事業を承継したい」と言える会社をめざしてほしい」と強調した。続いて同社の中岡裕一常務が「企業を取り巻くリスク」と題して身近なリスク、リスクとの向き合い方、防止できるリスクと回避しにくいリスクの違い、リスクヘッジ(危機回避)の方法、与信リスクの現状、反社会組織への対処法、人材採用・育成のポイント、ハラスメントへの対応などを豊富なデータや事例を交えて解説した。第二部の製販懇談会では中山歳久給水システム協会技術委員長(前澤給装工業(株))が①同協会の組織・事業概要②給水用具に求められる近年のニーズ③同協会が扱う規格④水道用ポリエチレン管金属継手(継手の概要と耐震性能強化型規格)⑤水道用フレキシブル継手(製品の概要と耐震性能強化型規格)⑥給水配管の耐震性評価試験⑦メタル入りパッキン(耐震性の向上対策)などをわかりやすく紹介した。

NICHIEI INTEC らく吊 X ひとつの金具がすべてを変える 日栄インテック株式会社

省施工 省人化

GOOD DESIGN AWARD 2022年度受賞

「最速の施工」動画

「施工のスピードが速く、かつ、安全と安心を実現」

ナットを外さなくても取付けできます パイプの支え作業ゼロ

パイプの可動が容易

ナットの締め忘れ防止 目視確認が可能